HITACHI
Inspire the Next

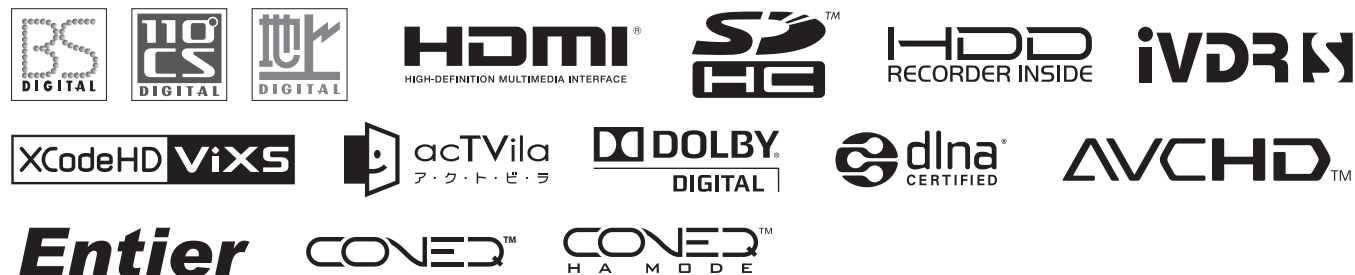
Wooo [ウー!]

取扱説明書

日立液晶テレビ / プラズマテレビ

(地上・BS・110 度 CS デジタルチューナー内蔵)

形名

L32-XP500CS, L37-XP500CS, P42-XP500CS

液晶テレビ

プラズマテレビ

このたびは日立液晶テレビ / プラズマテレビをお求めいただき、ありがとうございました。
本書は、各モデルの共通の取扱説明書となっています。それぞれの機種特有の取り扱いについては、L32-XP05、L37-XP05、P42-XP05、P46-XP05、P50-XP05、L32-XP500CS、L37-XP500CS、P42-XP500CS と表記しています。
本文中のイラストは、主に L32-XP05 で説明しています。

HDD（ハードディスク）は一時的な保管場所です。万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDD の内容 (録画済みの番組データなど) の補償や損失、直接・間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

最初に この取扱説明書に記載の「使用上のご注意」をお読みください。
本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
取扱説明書と保証書は大切に保管してください。『保証書』は梱包箱の上部内側に添付されています。

はじめに
テレビを設置する
外部機器を接続する
テレビを楽しむ
番組を録画・予約する
録画番組・写真などを楽しむ
接続した機器を楽しむ
インターネットサービスを楽しむ
AVネットワークを楽しむ
お好みや使用状態に合せて設定する
個別に設定したいとき
困ったときは
その他

特　長

映像の高精細化を実現する光沢液晶パネル
フル HD IPS αパネル搭載
(L37-XP05, L37-XP500CS)

IPS αパネル搭載
(L32-XP05, L32-XP500CS)

ディテールまで鮮明な映像を映し出す
フル HD ダイナミック・ブラックパネル 2
(P42-XP05, P46-XP05, P50-XP05, P42-XP500CS)

美しい映像を再現する画像処理技術
新 Picture Master Full HD2

デジタル放送、アナログ入力を内蔵のハードディスク（HDD）に録画、再生して楽しめる
320GB HDD 内蔵

解像度向上で、立体感のある映像を実現
超解像技術

ハイビジョン放送をたっぷり録れる 8 倍録画
XCodeHD

動きの速い映像もクッキリ
倍速 120 コマ技術搭載
(L32-XP05, L37-XP05, L32-XP500CS, L37-XP500CS)

出し入れ自由なハードディスク対応スロット
iV ポケット搭載

いつでも最適な高画質に自動調整
インテリジェント・オート高画質 2

地上デジタル放送を 3 つのチューナーで受信
地上デジタル放送を視聴しながら地上デジタル放送を 2 番組同時録画（ダブル録画）
地上デジタル放送 3 チューナー内蔵
（CATV パススルー対応）

HDMI-CEC 対応機器と連携した快適操作が可能
Wooo リンク
4 系統 HDMI 端子装備
SD メモリーカードスロット装備

Wooonet やアクトビラなどのネットサービス対応
ネット TV 対応

ご家庭内の視聴スタイルを広げる
AV ネットワーク対応

本書の見かた

この説明書は、主に下記の内容で構成されています。

使用しているアイコンについて

⚠注意　安全上、守っていただきたいことを記載しています。

お守りください　操作上、守っていただきたいことを記載しています。

お知らせ　操作上、知っておいていただきたいことを記載しています。

メ　モ　知っていると便利な操作・解説を記載しています。

📖 マークは、参照ページを表しています。

リモコンのカーソルボタンの記号について

カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

- 上下左右方向の操作
- 左右方向の操作
- 上下方向の操作
- 左方向の操作
- 上方向の操作
- 右方向の操作
- 下方向の操作
- ◎ / 決定　右方向または決定の操作
- ◎ / 決定　左方向または決定の操作

各ページの見かたについて

リモコンボタン配置が記載された表紙の折り返し部分を開き、各ページをご覧ください。

リモコンボタン配置

①画面表示ボタン 85
②電源ボタン 52 74
③放送切換ボタン 74
④チャンネルボタン または 数字、文字入力ボタン 53 74 129
⑤消音ボタン 85
⑥音量ボタン 74
⑦裏番組ボタン 76
⑧番組表ボタン 77
⑨ Wooo リンクボタン 133
⑩カーソルボタン 27
⑪メニューボタン 27
⑫カラーボタン *（青 , 赤 , 緑 , 黄） 76 77 139 166
⑬ⓓ連動データボタン 76
⑭サーチ / スローボタン 109
⑮一時停止ボタン 109
⑯録画ボタン 93
⑰ 10 秒バックボタン 109
⑱ 録画モード / 残量ボタン HDD/ カセット HDD ボタン 92
⑲音声切換ボタン 86
⑳チャンネル番号入力ボタン 74
㉑チャンネルアップ / ダウンボタン 74
㉒入力切換ボタン 132
㉓見るボタン 105
㉔ネット (アクトビラ) ボタン 139
㉕戻るボタン 29
㉖決定ボタン 27
㉗ 2 画面ボタン 83 108 154
㉘再生ボタン 109
㉙スキップ / コマ送りボタン 109
㉚ 30 秒スキップボタン 109
㉛停止ボタン 93 105
㉜ワイド切換ボタン 81

* カラーボタンは、本書内の説明では、それぞれ下記のような表記になっています。

青 赤 緑 黄

付属品について

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

■取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

お守りください

●電源コードは、必ず付属品をお使いください。
●付属品の電源コードは、本機以外の電気機器には使用しないでください。

もくじ

はじめに

テレビを設置する

外部機器を接続する

テレビを楽しむ

もくじ（つづき）

番組を録画・予約する

録画番組・写真などを楽しむ

接続した機器を楽しむ

インターネットサービスを楽しむ

AV ネットワークを楽しむ

お好みや使用状態に合わせて設定する

個別に設定したいとき

困ったときは

その他

使用上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について

	警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷＊1を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷＊2を負う可能性が想定される内容および物的損害＊3のみの発生が想定される内容を示しています。

＊１：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒など後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要すものをさしています。
＊２：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

図記号の例

 気をつけなければならない。「注意」を示します。

 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。

 してはいけない。「禁止」を示します。

 必ず行う。「強制」を示します。

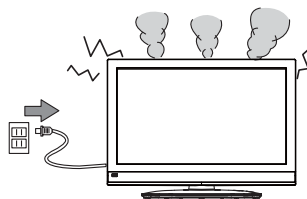
安全上のご注意

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

異常や故障のとき

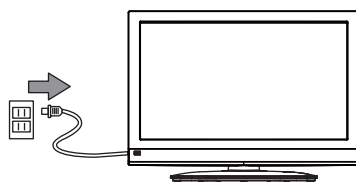
⚠警告

■煙が出ている、へんなにおいや音がするときは、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

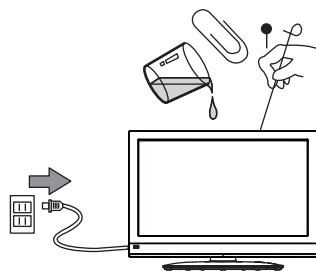
異常のまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなることを確認して販売店に修理をご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜け

⚠注意

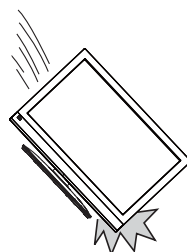
■画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

■内部に水や異物などが入った場合は、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜け

■本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

■表示パネルに衝撃を加え、本機の表面にヒビが入った場合 (プラズマテレビ) は、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・ケガの原因となります。

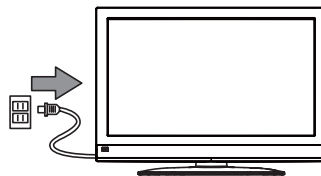
電源プラグをコンセントから抜け

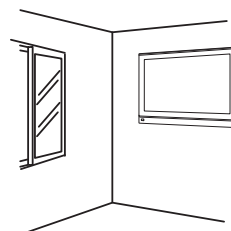
使用上のご注意（つづき）

設置するとき

⚠警告

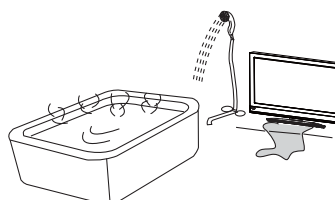
■電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、
電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、
火災・感電の原因となることがあります。
本機は電源が「切」の状態でも、微弱な電流が流れています。

■壁に取り付ける場合は、必ず別売の専用の壁掛け金具を使用し、専門の業者に依頼する

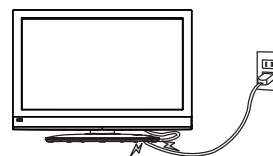
専門業者以外の人が壁掛け金具を使用して設置すると、
壁への取り付けがもろい場合に、本機が落下し、
打撲や骨折など大けがの原因となります。

■ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

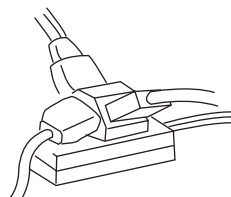
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■風呂、シャワー室では使用しない

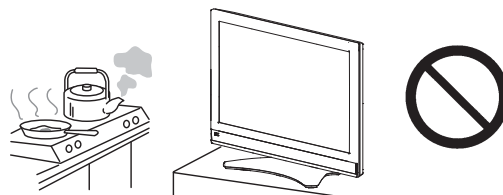
火災・感電の原因となります。

風呂場やシャワー室での使用禁止

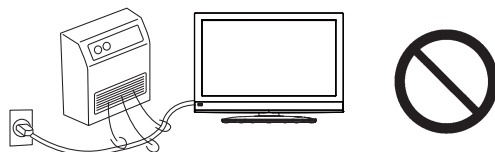
■電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない

コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物などで覆ってしまうと、
気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

●たこ足配線など、定格を超えると発熱により、
　火災・感電の原因となります。
●表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

⚠注意

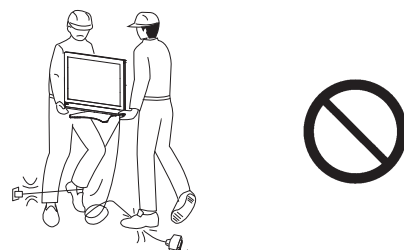
■湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所やエアコンの下など、水滴が落ちる場合のある場所に置かない

●火災・感電の原因となることがあります。

■電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、
火災・感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。

●本機は質量が大きく奥行きが無くて不安定なため、一人で作業をすると思わぬけがの原因になります。

■壁掛けなどスタンドを取り外して使用する際、外したネジは元のネジ穴に戻さず、スタンドと共に保管してください。

●壁掛けアタッチメントには専用のネジが用意されています。スタンド専用ネジは使用しないでください。

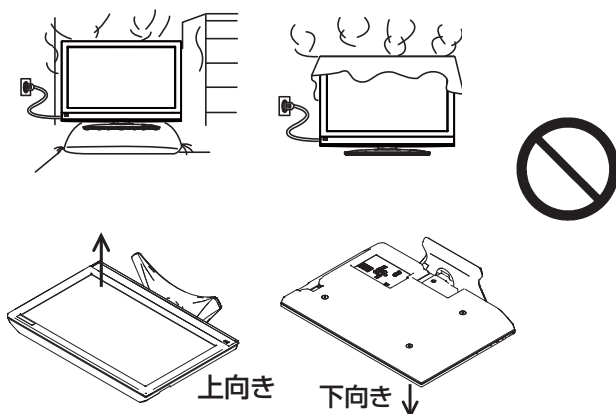
●その他、スタンド用ネジはスタンドを取り付けた状態で正常に機能する長さに設定されています。スタンド無しに装着すると、セットの変形などの原因となります。

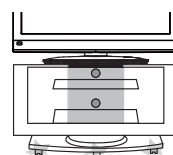
使用上のご注意（つづき）

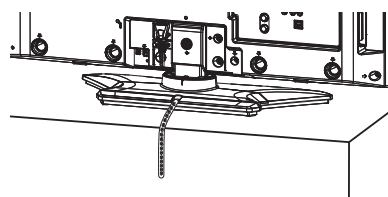
設置するとき（つづき）

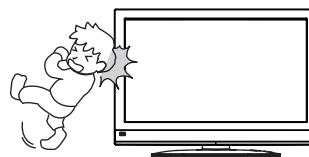
⚠注意

■本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。
また、本機の設置は、壁から左右 20cm 以上、
上部は 30cm 以上離す。
（壁掛け設置をする場合は除く）
特に次のような使い方はしない。故障の原因となります。
●本機を上向きや横倒し、下向きにする。
●押入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
●じゅうたんや布団の上に置く。
●テーブルクロスなどを掛ける。

■キャスター付きテレビ台に本機を設置する場合にはキャスター止めをする

動いて思わぬけがの原因となることがあります。

■転倒防止の処置を行なう

テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

■本機を頭や顔、手足などをぶつけるような場所に設置しない

けがの原因になることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●壁掛け・天吊り据え付け時には、
頭などをぶつけることのないように、
取り付けの高さにご注意ください。

■本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください

●送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
● BS、CS 放送受信用アンテナは、強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付ける。

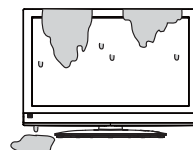
使用するとき

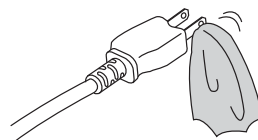
⚠警告

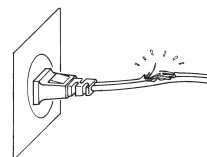
■本機の上に花びん、植木鉢、コップ、
化粧品、薬品や水などの入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

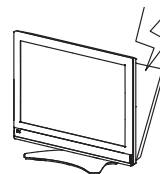
火災・感電の原因となります。
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■電源プラグの刃および刃の付近にほこりや
金属物が付着している場合は、
電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く

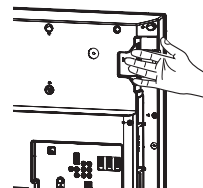
そのまま使用すると火災・感電の原因とります。
定期的（年に 1 回くらい）に清掃してください。

■電源コードを傷つけたり、加工したり、
無理に曲げたり、ねじったり、
引っ張ったり、加熱したりしない

コードが破損して、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

■雷が鳴り出したら、アンテナ線や
電源プラグには触れない

感電の原因となります。

■本機の裏ぶた、前面枠、カバーは外さない、本機を改造しない

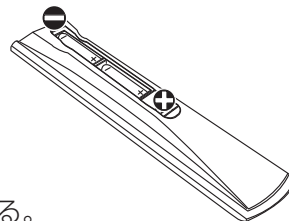
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

■カセット HDD 挿入口のドア内に指などを入れない

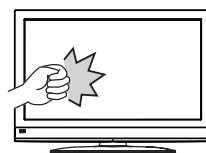
ドア内、ガイド部等には突起があり、突起に触れたり、
ドアに指を挟んだりすると、けがの原因となることがあります。

使用上のご注意（つづき）

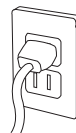
使用するとき（つづき）

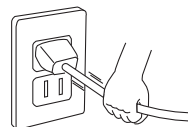
⚠注意

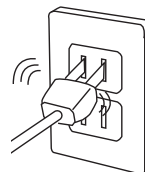
■間違った電池の使い方をしない

●乾電池は充電しない。
●指定以外の電池は使用しない。
●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
●極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■表示パネルには、絶対に衝撃を加えない

本機の表示パネルをたたくなどして衝撃を加えると表示パネルが割れ、
火災・けがの原因となります。

■電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

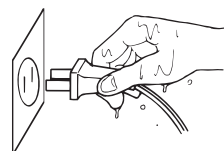
差し込みが不完全ですと発熱したり、
ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

■電源プラグは根元まで差し込んでも
ゆるみがあるコンセントに接続しない

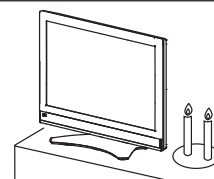
発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

■本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

■機器の近くにローソクなどの裸火を置かない

火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■本機の上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、
けがの原因となることがあります。

■旅行などで長時間、
本機をご使用にならないときは、
安全のため必ず電源プラグを
コンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜け

火災の原因となることがあります。
本機は電源が「切」の状態でも、微弱な電流が流れています。

お手入れするとき

⚠注意

■お手入れの際は、安全のため電源プラグを
コンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

■年に一度くらいは、内部の掃除を販売店などにご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

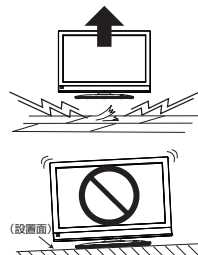
使用上のご注意（つづき）

お守りください

■高温になるところに置かないでください
前面枠、バックカバーやその他の部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

●直射日光や熱器具の近くなど。

■平坦で安定する場所に設置してください
●テレビをフローリングに直接床置きすることはさけてください。フローリングの材質・表面状態によっては床面とスタンドのスベリ止めが強く密着し、テレビを持ち上げた際、フローリングの表面がはがれる場合があります。

●故障の原因となるため、設置場所は十分な耐荷重強度のある、平坦で安定した場所を選んでください。（傾斜面や、カーペット･畳などの安定しない面、変形する面などに設置しないでください）

■パネルを押したり、物をぶつけたりしないでください
液晶パネル表面には保護ガラスがありません。指・手などで押したり物をぶつけると、液晶セル・ガラスが破損し、故障やけがの原因となります。

プラズマパネルは微細加工したガラスです。パネルの前面にはガラス製のフィルターを取り付けていますが、指・手などで押したり物をぶつけたりすると、ガラスが破損する恐れがありますので、強い衝撃は与えないでください。

■超音波式加湿器のそばに置かないでください
超音波式加湿器をご使用の場合、水質によっては水道水に含まれるカルキやミネラル成分がそのまま霧化され、テレビ内部に白い粉状のものが入り込んで画面の隅が暗くなったり、色ムラ状に見える場合があります。あるいは故障の原因になる恐れがありますのでご注意ください。

■ SD メモリーカード挿入口に異物を挿入しないでください
SD メモリーカード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。 microSD メモリカードをご利用の場合は、SD メモリカード変換アダプターに装着してご利用ください。

■ B-CAS カード挿入口に異物を挿入しないでください
B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください
●引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

●横倒しでの輸送はしないでください。パネルが破損する、または面欠点が増加する可能性があります。

■本機の温度について
本機は、長時間使用したときなどに、上部やパネル表面が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

■乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください
他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。

■テレビをご覧になるときは、適度な距離と明るさでご覧ください
●画面の縦の長さの 3 ～ 7 倍離れた場所でご覧になれば、見やすくて目が疲れにくくなります。

●暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

●長時間連続して画面を見ていると目が疲れます。時々、画面から離れて目を休めてください。

■適度な音量で隣り近所へ配慮してください
特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■カセット HDD 挿入口に異物を挿入しないでください
カセット HDD 以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■焼き付きについて（プラズマテレビ）
静止画（画面表示、放送局から送られる時刻表示など）や、ゲーム機などの固定映像を長時間または繰り返し表示したり、画面のワイドモードをノーマルモードで長時間ご覧になると、プラズマパネルが焼き付く場合があります。画面の焼き付きを避けるため、スクリーンセーバーの使用やワイドモードはノーマル以外のモードで使用することをおすすめします。焼き付きが軽度のときは、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。プラズマパネルの焼き付きは保証対象外です。287 288

お知らせ

■面欠点について

パネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■残像について

静止画（画面表示、放送局側から送られる時刻表示など）やメニュー表示を短時間（約 1 分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。

■低温度環境での使用について (液晶テレビ）

液晶の特性により、周囲の温度が下がるにつれ液晶の応答速度が遅くなり、映像が残像として見えることがありますが、故障ではありません。常温環境下に戻し、しばらくすると回復します。

■パネル表面温度について

液晶テレビは、内蔵しているバックライトを点灯させることにより映像を表示しています。そのため、液晶パネルの表面温度が高くなる場合があります。
プラズマテレビは、パネル内部で放電を起こすことにより映像を表示しています。そのため、パネルの表面温度が高くなる場合があります。また、プラズマパネルは、微細加工したガラスです。ガラスが破損する恐れがありますので強い衝撃は与えないでください。

■パネル駆動音について

視聴中に、「ジー」というパネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

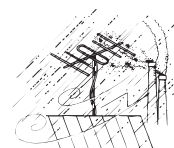
■天候不良によって、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

■ 110 度 CS デジタル放送をご覧になるには

110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHz またはそれ以上の周波数対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

■アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。
特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

■操作できなくなった場合は

受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、本体の電源ボタンを 5 秒以上押してから再度電源ボタンを押してください。

■ラジオについて

本機の近くでラジオを使用しますと、ラジオの音声に雑音が入る場合があります。本機より離してご使用ください。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（470MHz ～ 2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

使用上のご注意（つづき）

お知らせ（つづき）

■本機に記憶される個人情報などについて

- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力したお客様の個人情報が記録されます。また、インターネットを利用したネットワークサービス（Wooonet、アクトビラなど）をご利用の場合、各サービスが使用するお客様ごとの識別情報などが本機のメモリーに記録されます。本機を廃棄、譲渡する場合には「設定の初期化」を 230 実施して、本機内のメモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

■インターネットへの接続について

地上・BS デジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。本機で、このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。インターネット網への接続をしていないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。

■インターネット機能について

インターネットを利用してネットワークサービス（Wooonet、アクトビラ）を受けるには、ブロードバンド環境が必要です。ブロードバンド環境をお持ちでない場合は、インターネット回線事業者および接続業者（プロバイダー）との契約が必要です。

■本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、テレビの電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ）状態でも、自動的にデジタル放送の情報を受信したり、ソフトウェア更新のためダウンロードを行ったりする場合があります。また、家庭内ネットワーク（DLNA）で楽しむ場合は、本機はホームサーバーとして動作しますので、電源オフ（スタンバイ）状態でも自動的に映像などを配信することができます。

■ダウンロードについて

放送運用などに変更が生じた場合、本機のソフトウェアを更新して対応させるために、放送によるダウンロードサービスを行ないます。このサービスを受けるには、ご使用にならないときは、リモコンで電源を切った状態にしておくことをお勧めします。電源プラグを抜いた場合はこのサービスを受けられません。

■インターネットの接続状況について

インターネット接続のためにお客様がご利用になっている機器や、お客様がご契約になっているインターネット網への接続方法によっては、サービスが必要としている通信速度を得られず、十分なサービスを享受できない場合があります。また、各サイトのアクセスの状況や、回線の状況により通信速度が変化することもあります。

■インターネットのサイトやサービスについて

インターネットのサイトや、インターネットで提供される各種サービスは、ご自身で判断してお使いください。お客様が本機を使用してインターネットへのアクセスやインターネット上のサービスをご使用になられて発生した被害や損害についての補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■お客様の宅内のネットワーク機器との接続について

本機の DLNA 機能を使い、お客様の宅内ネットワーク機器と接続することができますが、本機の動作状況や能力、お客様の機器の動作状況や能力、ネットワークの状況により十分な視聴ができない場合があります。

■メモリーカードについて

本機に挿入されたメモリーカードに保存、記憶されているデータは、本機の操作を誤った場合や静電気などのノイズの影響を受けた場合、消失する恐れがあります。このような場合や万一何らかの不具合により、データが消失した場合の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。大切なデータは、他のメディアにバックアップを取っておくことをおすすめします。

■赤外線通信機器について

赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドホンなどの通信機器は、通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ（つづき）

■ライセンス等について

● 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。

本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™ NetFront®

● 日本語変換には、オムロンソフトウェア (株) のモバイル Wnn を使用しています。
●「カセット HDD」と iVDR S は、「カセット HDD 技術規格」に準拠することを表す商標です。
● SDHC ロゴは商標です。
● HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における、HDMI Licensing、LLC の商標または登録商標です。
●「AVCHD」と「AVCHD」ロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
● acTVila アクトビラ および「acTVila」、「アクトビラ」は、株式会社アクトビラの商標または、登録商標です。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
● DLNA、DNLA ロゴおよび DLNA CERTIFIED は、Digital Living Network Alliance の登録商標です。
● “x.v.Color” はソニー株式会社の商標です。
●本製品には「DiXiM® SDK」を使用して開発された AV ネットワーク機能を搭載しています。
DiXiM は、株式会社デジオンの登録商標です。
●この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
●この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
● Entier(エンティア) は、㈱日立製作所の日本国およびその他の国における商標です。
●この製品は、Real Sound Lab, SIA からの実施権に基づき製造されています。
CONEQ は、Real Sound Lab, SIA の商標です。
●本機は、Adobe systems Incorporated (アドビシステムズ社) の Flash®Lite ™テクノロジーを搭載しております。Flash Lite は、Adobe systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

留意点

■付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに B-CAS（ビーキャス）「(株) ビーエス･コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■万一、本機の不具合により録画ができなかった場合や、インターネットのサービスが受けられなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■あなたがカセット HDD に録画したものやインターネットのサービスで取得した映像や音声などのコンテンツは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。

■本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより変更することがあります。

■ダウンロードとは、デジタル放送を受信してダウンロードデータを取り込み、本機のプログラムを最新のものに書き換える機能です。お買上げ時はダウンロードを「自動」で行う設定になっています。「しない」設定にもできますが、最新のプログラムでお楽しみいただくため、通常は「自動」の設定でご使用ください。

使用上のご注意（つづき）

お手入れについて

⚠注意	■ **お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う** 感電の原因となることがあります。

■表示パネルに汚れが付くと落ちにくいため、汚れた手で触れないようにご注意ください。
■前面枠やスタンドのお手入れは、付属のクリーニングクロスなど柔らかいきれいな布をお使いください

前面枠やスタンドの光沢部分は傷が付きやすいので、お手入れの際には、必ず付属のクリーニングクロスや柔らかいきれいな布 (生地の表面が起毛された綿素材など) で軽くほこりを払ってください。ほこりのついた布や固い布で拭くと傷が付く恐れがあります。

■表示パネルのお手入れは、付属のクリーニングクロスなど柔らかいきれいな布で拭いてください

本機のパネル表面は、特殊なフィルムやコーティングが施されています。お手入れの際には、付属のクリーニングクロスや柔らかいきれいな布 (生地の表面が起毛された綿素材など) で軽く乾拭きしてください。

●固い布で拭いたり、強くこすったりしますと、パネル表面のフィルムや特殊コーティングが傷付きますのでご注意ください。
●指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
●付属のクリーニングクロスを水で濡らしてパネルを拭かないでください。パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、変色する恐れがあります。
●ガラス用クリーナーやスプレー式のクリーナーは、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、内部に侵入し、故障の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
●化学ぞうきんやアルコール、ベンジン、シンナー、酸性 / アルカリ性 / 研磨剤入り洗浄剤などは、その成分により、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、変色する恐れがありますので、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんやクリーニング用モップなどの化学成分、影響、注意などについてはそれぞれのメーカーにお問い合わせください。
●表示パネルは高額部品です。お客様の過失や故意によって傷や汚れが付いた場合の部品交換は、保証期間内でも有償となりますので、あらかじめご了承ください。

■前面枠、バックカバーやスタンドのお手入れの際、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください

●前面枠やバックカバーの表面をベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。
●化学ぞうきんは、前面枠、バックカバーやスタンドが変質する原因となりますのでご使用にならないでください。

化学ぞうきんやクリーニング用モップなどの化学成分、影響、注意などについてはそれぞれのメーカーにお問い合わせください。

●前面枠や操作パネル部分の汚れは、付属のクリーニングクロスや柔らかいきれいな布 (生地の表面が起毛された綿素材など) で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
・酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど
●前面枠とスタンドの光沢部分は、傷が目立ちやすいので、お手入れ、お取扱いには特にご注意願います。

■洗剤を直接本機にかけないでください。

水滴が内部に入ると、故障の原因になります。

■スピーカー部のお手入れは布を使用しないでください

スピーカー部には小さな穴が開いており、布で拭くとほこりがテレビの中に入ってしまいます。お手入れの際は先端に柔らかなブラシのついた掃除機で軽く吸い取って下さい。

重要 必ずお読みください

HDD/ カセット HDD（ハードディスクドライブ）の取扱いについてのお願い

**本機に内蔵の HDD または別売のカセット HDD は非常に精密な機器です。
使用する環境や取扱いにより HDD/ カセット HDD の動作および寿命に影響を与える場合がありますので、次の内容を必ずお守りください。
別売のカセット HDD 取扱説明書に記載されている注意表示も必ずお守りください。**

■設置時

●後面や側面の通風孔をふさがないでください。
●振動や衝撃が起こらない場所に設置してください。
●ごみやほこりの少ない場所に設置してください。
●「結露」(つゆつき) が発生しにくい場所に設置してください。「結露」は故障の原因になります。
「結露」とは、冷たいコップの表面に水滴がついたりする現象です。急な温度変化が起きた場合や、寒い所から暖かい場所へ移動して設置する場合は「結露」が起こりやすくなります。そのような場合は、室温に約 2 ～ 3 時間なじませてから電源を入れてください。
●温度や湿度が高くない場所、直射日光があたらない場所に設置してください。温度や湿度の高い場所に設置すると録画、再生不良が発生したり、故障の原因になります。
●安定した動作を維持するため、長期間ご使用されない場合でも、一年に一回程度は通電していただくことをおすすめします。

■動作中

●電源プラグを抜かないでください。
●振動（スピーカーの音量過大による振動含む）や衝撃を与えたり、本機を移動させたりしないでください。
移動するときには・・・①カセットHDD取り出しボタンを押して、画面に「カセットHDDの取り出し可能です」のメッセージが表示されてからカセット HDD を取り出す。
内蔵 HDD が動作している時は停止する。
②電源プラグをコンセントから抜く。
③ 2 分以上待ってから本機を動かす。
●カセット HDD アクセス（動作中）ランプ68が赤色で点灯中のときは、カセット HDD を抜かないでください。

お知らせ

●本体前面の受像ランプが緑色に点灯している間、HDD/ カセット HDD は高速で回転しています。起動時や回転中に発生する音や振動は故障ではありません。
●データ読み取りの状態により、再生画面にまれにノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。
●振動や衝撃によって、HDD/ カセット HDD が正常に動作しない場合があります。

■停電が発生した場合

●記録中や再生中に停電等で電源が供給されなくなった場合、HDD/ カセット HDD の録画内容が損なわれる可能性があります。

■故障時のお願い

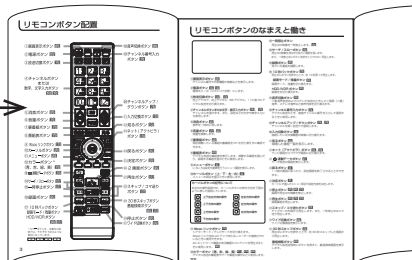
●再生画面が一時停止したり乱れが頻繁に発生する場合は、HDD/ カセット HDD の故障が考えられます。このような場合は HDD/ カセット HDD の交換が必要です。
● HDD/ カセットHDD を交換する場合、HDD/ カセットHDD の録画内容を新しいHDD/ カセットHDD に移すことはできません。
●カセット HDD の故障時は、カセット HDD の保証書をご覧いただき、保証書に記載のお問い合せ先にお問い合せください。

■大切な映像を保存するために

●故障の場合、HDD/ カセット HDD の録画内容が損なわれることがあります。大切な映像を録画する際は、HDD/ DVD レコーダーなどによる録画を併用されることをおすすめします。

万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合の内容 (データ) の補償や損失、直接･間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

リモコンボタンのなまえと働き

表紙の折り返し部分の「リモコンボタン配置」と合わせてご覧ください。

①画面表示ボタン 85
チャンネル番号や外部機器の情報などを表示します。

②電源ボタン 52 , 74
電源を入 / スタンバイ状態にします。
(本体のスタンバイ / 受像ランプが点灯しているとき)

③放送切換ボタン 74
地上アナログ、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送を切り換えます。

④チャンネルボタンまたは文字・数字入力ボタン 53 74 129
チャンネルを選びます。また、設定などの文字や数字入力にも使用します。

⑤消音ボタン 85
音声を一時的に消します。

⑥音量ボタン 74
音量を調節します。

⑦裏番組ボタン 76
現在視聴している番組の裏番組を CH を切り換えずに確認できます。

⑧番組表ボタン 77
デジタル放送の番組表を表示します。視聴する番組を選んだり、録画する番組を選ぶときに使用します。

⑨ Wooo リンクボタン 133
Wooo リンク対応 AV アンプまたはレコーダーを接続すると、本機のリモコンで操作することができます。
AV ネットワーク機能のある機器のコンテンツを再生するときに使用します。 165

⑩メニューボタン 27
いろいろな設定や調節を行うメニュー画面を表示します。

⑪カーソルボタン（上・下・左・右）27
メニューの項目を選ぶときに使用します。

カーソルボタンの記号について

本文中の操作説明では、カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

- 上下左右方向の操作
- 左右方向の操作
- 上下方向の操作
- 左方向の操作
- 上方向の操作
- 右方向の操作
- 下方向の操作

⑫カラーボタン（青、赤、緑、黄）76 77 139 166
デジタル放送の番組表やデータ番組の操作などに使用します。
番組表などの画面の設定を変更するときにも使用します。

⑬ (d) 連動データボタン 76
データ放送の画面を表示します。

⑭サーチ / スローボタン 109
再生中の映像を見ながら見たい場面を探します。
また、一時停止中にボタンを押すことでスロー再生します。

⑮一時停止ボタン
再生中の映像を一時停止します。109

⑯録画ボタン 93
見ている番組を録画します。

⑰ 10 秒バックボタン 109
再生中にボタンを押すことで、約 10 秒戻って再生します。

⑱録画モード / 残量ボタン 92
録画モード、残量を切り換えます。

HDD/ カセット HDD ボタン 92
録画先を切り換えます。

⑲音声切換ボタン 86
二重音声放送およびステレオ放送のときに2ヶ国語（二重）音声、ステレオ音声など音声内容を切り換えます。

⑳チャンネル番号入力ボタン 74
デジタル放送のとき、直接チャンネル番号を入力して選局するときに使用します。

㉑チャンネルアップ / ダウンボタン 74
チャンネルを順 / 逆送りで選局します。

㉒入力切換ボタン 132
接続している外部機器の映像に切り換えます。

㉓見るボタン 105
録画した番組、ダウンロードコンテンツ、写真などを一覧画面 (見る一覧) で表示します。

㉔ネット（アクトビラ）ボタン 139
テレビ画面からブラウザ画面に切り換えます。

㉕戻るボタン 29
1 つ前の画面に戻ったり、設定画面を終了させることができます。

㉖決定ボタン 27
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

㉗ 2 画面ボタン 83 108 154
画面を 2 画面にします。

㉘再生ボタン 109
録画番組を再生します。

㉙スキップ / コマ送りボタン 109
チャプターの先頭から再生します。また、一時停止中はコマ送り再生します。

㉚ 30 秒スキップボタン 109
再生中にボタンを押すことで、約 30 秒スキップした場面から再生します。

㉛停止ボタン 93 105
録画や再生中の映像を停止します。

㉜ワイド切換ボタン 81
ワイド切換画面を表示します。

本体各部のなまえ

液晶テレビ

前面

側面

カセット HDD 取出しボタン 68

カセット HDD アクセス（動作中）ランプ 67 68

SD メモリーカード挿入口 69

ビデオ 3 入力端子 62

HDMI3 入力端子 60

ヘッドホン（ミニ）端子
別売のミニプラグのヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンの音量を設定することができます。 186

B-CAS カード挿入口 43

カセット HDD 挿入口 67

本体各部のなまえ（つづき）

液晶テレビ

後面

59 ビデオ 1/ コンポーネント入力

63 ビデオ 2 入力

47 ネットワーク (LAN) 端子

60 HDMI 1 入力

60 HDMI 2 入力

60 HDMI 4 入力

LAN(10BASE-T/100BASE-TX)

入力

ビデオ1/コンポーネント 入力

ビデオ2 入力

出力

デジタル放送/録画番組 出力

D4映像

映像

映像

左
|
音声
|
右

HDMI 1 入力

HDMI 2 入力

HDMI 4 入力

アナログ音声を接続する際は
ビデオ1入力端子を使用してください。

HDMI

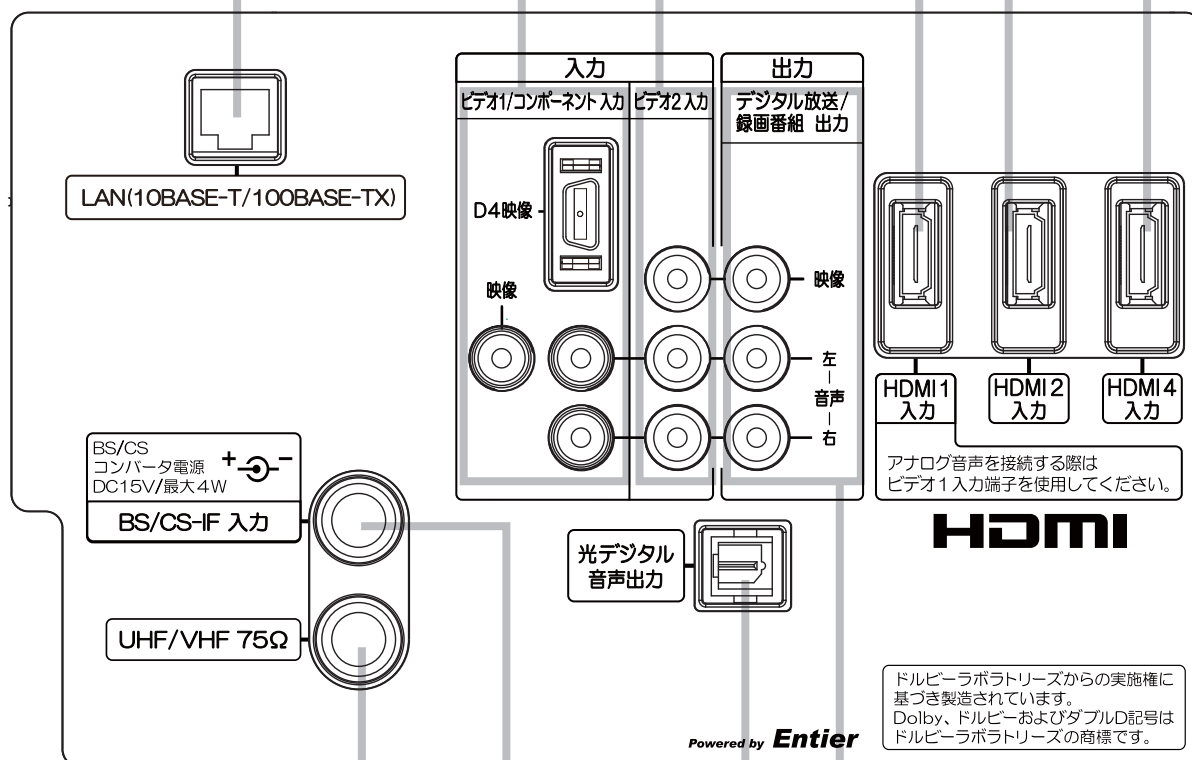
BS/CS
コンバータ電源
DC15V/最大4W

BS/CS-IF 入力

UHF/VHF 75Ω

光デジタル
音声出力

ドルビーラボラトリーズからの実施権に
基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は
ドルビーラボラトリーズの商標です。

Powered by Entier

40 UHF/VHF 入力

42 BS/CS-IF 入力

59 デジタル放送 / 録画番組出力

65 光デジタル音声出力

プラズマテレビ

側面

カセット HDD 取出しボタン 68

カセット HDD アクセス（動作中）ランプ 67 68

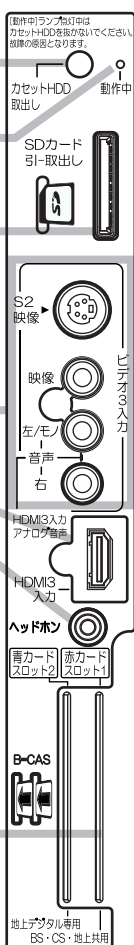
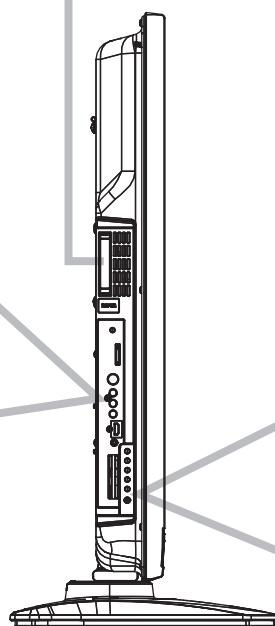
SD メモリーカード挿入口 69

ビデオ 3 入力端子 62

HDMI3 入力端子 60

ヘッドホン（ミニ）端子

別売のミニプラグのヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンの音量を設定することができます。 186

B-CAS カード挿入口 43

カセット HDD 挿入口 67

入力切換ボタン 88

チャンネル ▼ / ▲ボタン 88

音量 ▼ / ▲ボタン 88

電源ボタン 88

本体各部のなまえ（つづき）

後面

59 ビデオ 1/ コンポーネント入力

47 ネットワーク (LAN) 端子

63 ビデオ 2 入力

60 HDMI 1 入力

60 HDMI 4 入力

60 HDMI 2 入力

LAN(10BASE-T/100BASE-TX)

ビデオ1/ コンポーネント 入力

D4映像

映像

ビデオ2 入力

デジタル放送/ 録画番組 出力

映像

左

音声

右

入力

出力

HDMI 1 入力

HDMI 2 入力

HDMI 4 入力

アナログ音声を接続する際は
ビデオ1入力端子を使用してください。

HDMI

BS/CS
コンバータ電源
DC15V/最大4W

BS/CS-IF 入力

UHF/VHF 75Ω

光デジタル 音声出力

ドルビーラボラトリーズからの実施権に
基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は
ドルビーラボラトリーズの商標です。

Powered by Entier

59 デジタル放送 / 録画番組出力

40 UHF/VHF 入力

42 BS/CS-IF 入力

65 光デジタル音声出力

メニュー機能の使いかた

メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使ってほとんどの機能の設定ができます。

1 (字幕/メニュー)を押す

メニュー画面が現れます。

2 (カーソル)で項目を選び、(決定)を押す

操作ガイド
操作ボタンが表示されます。

録画番組一覧画面時（各フォルダを選択している場合）

メニュー
- 画面デザイン
- リスト表示
- 削除ロック設定／解除
- ダビング
- プレイリスト
- フォルダ追加
- フォルダ削除
- フォルダ名変更

画面デザイン 105
画面デザインを選びます。

リスト表示 105
サムネイル表示からリスト表示に切り換えます。

削除ロック設定／解除 123
録画した番組を削除できないようにします。

ダビング 116
HDD に録画されている番組をスロット側カセット HDD にダビングできます。

プレイリスト / 録画番組 106
プレイリストまたは録画番組画面に切り換えることができます。
プレイリスト画面になっているときは､「録画番組」と表示されます。

フォルダ追加 127
新しいフォルダを追加します。

フォルダ削除 127
フォルダの削除を行います。

フォルダ名変更 126
フォルダ名の変更をします。

録画番組一覧画面時
（各録画番組を選択している場合）

画面デザイン 105
画面デザインを選びます。

リスト表示 105
サムネイル表示からリスト表示に切り換えます。

番組説明 78
選択中の番組のタイトルなどの情報を表示します。

削除ロック設定／解除 123
録画した番組を削除できないようにします。

ダビング 116
HDD に録画されている番組をスロット側カセット HDD にダビングできます。

プレイリスト / 録画番組 106
プレイリストまたは録画番組画面に切り換えることができます。
プレイリスト画面になっているときは、「録画番組」と表示されます。

フォルダ登録 125
フォルダ内に登録されている録画番組を別のフォルダへ登録します。

一括削除 124
削除ロック対象以外の全ての録画番組を一度に削除したり、複数選択して削除することができます。

予約設定 105
録画番組と同じ時間帯の毎週予約ができます。

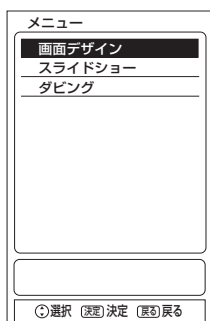
各種編集−サムネイル設定 110
録画した番組のシーンを選びサムネイルを更新することができます。

各種編集−タイトル名変更 114
録画した番組のタイトルを編集することができます。

各種編集−チャプター設定 112
チャプターポイントを設定することができます。

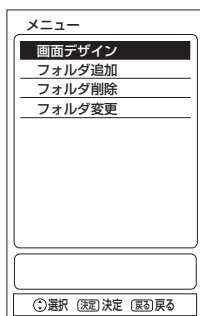
各種編集−分割 110
録画した番組をお好みの場所で 2 つに分割することができます。

2

写真・ビデオ一覧画面時
（ＳＤカードの各写真を選択している場合）

画面デザイン 105
画面の配色を変更することができます。

スライドショー 120
スライドショーの設定や実行を行うことができます。

ダビング 122
SD メモリーカードに記録した写真 (静止画像) を HDD に取り込むことができます。

写真・ビデオ一覧画面時
（HDD の各フォルダを選択している場合）

画面デザイン 105
画面の配色を変更することができます。

フォルダ追加 127
HDD に保存した写真 (静止画像) の新しいフォルダを追加します。

フォルダ削除 127
HDD に保存した写真 (静止画像) のフォルダの削除を行います。

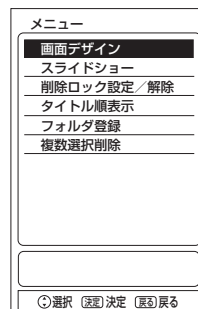
フォルダ名変更 126
HDD に保存した写真 (静止画像) のフォルダ名の変更をします。

録画番組一覧画面時
（録画先（カセット HDD) を選択している場合）

画面デザイン 105
画面の配色を変更することができます。

カセット HDD 名称編集 127
カセット HDD ディスクのタイトルを編集することができます。

●◎でグレー色文字の項目を選んだときは、設定を切換えたり、決定で操作することはできません。

写真・ビデオ一覧画面時
（HDD の各写真を選択している場合）

画面デザイン 105
画面の配色を変更することができます。

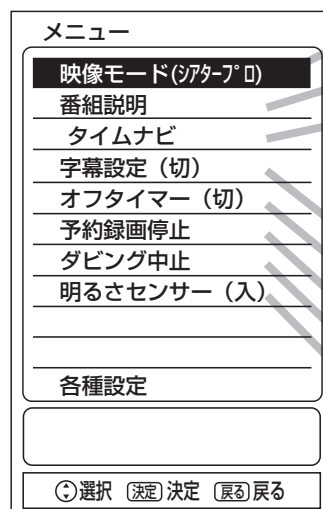
スライドショー 120
スライドショーの設定や実行を行うことができます。

削除ロック設定／解除 123
HDD に保存した写真 (静止画像) を削除できないようにします。

タイトル順表示 / 時間順表示 119
写真 (静止画像) の表示順を変更することができます。
現在タイトル順表示になっている場合は「時間順表示」と表示されます。

フォルダ登録 125
HDD のフォルダ内に登録されている写真 (静止画像) を別のフォルダへ登録します。

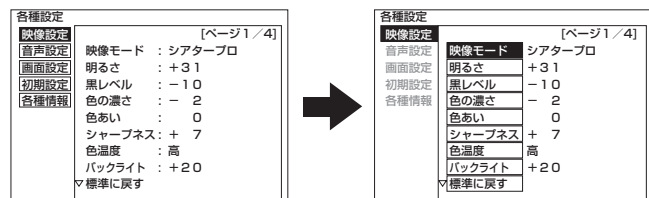
複数選択削除 124
HDD に保存した写真（静止画像) を複数選択して削除することができます。

再生時

次ページへつづく

2 「各種設定」について

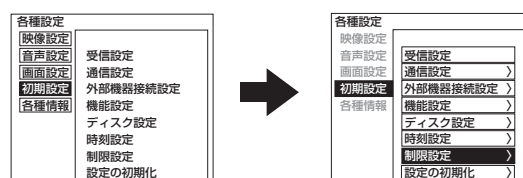
「各種設定」を選ぶと「映像」や「音声」、受信設定などの設定画面を表示することができます。

明るさなどの映像を調節したいときは

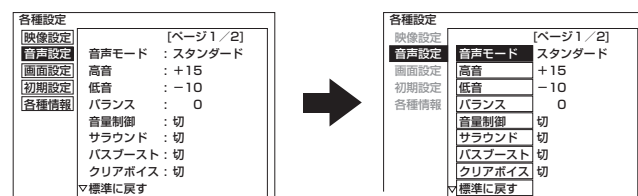
◎で「映像設定」を選び、◎ / 決定を押す

※バックライト機能は、液晶テレビのみ

182 など

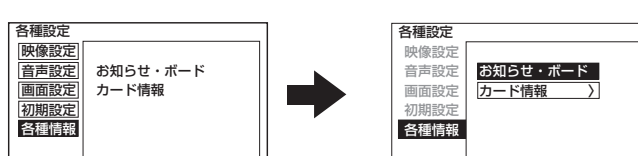
受信設定などの設定をしたいときは

◎で「初期設定」を選び、◎ / 決定を押す

204 など

高音などの音声を調節したいときは

◎で「音声設定」を選び、◎ / 決定を押す

186 など

メールなどを確認したいときは

◎で「各種情報」を選び、◎ / 決定を押す

87

ワイド切換などを設定したいときは

◎で「画面設定」を選び、◎ / 決定を押す

188 など

- 「▽」の表示があるときは、◎を押すと、次のページが表示されます。
- 「△」の表示があるときは、◎を押すと前のページが表示されます。
- ◎でグレー色文字の項目を選んだときは、設定を切換えたり、決定で操作することはできません。

3 設定が終了したら字幕メニューを押して、メニューを消す

メ　モ　リモコンの戻るについて

メニューの設定画面のとき、戻るを押すと前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。